

取組の方向性 市内産業の進化・発展

取組の柱 (1) 事業のしやすい環境づくり

①市内産業の経営支援

区分	事業内容	R4実績	R5実績	R6実績	R7見込	成果	課題
新規	BCP策定のための支援	○BCP策定支援事業（全4回）を開催 第1回8/4：BCPセミナー（豪雨災害から10年前気象庁長官が語る自然災害対策） 第1回リアル参加22人（16社（市内8社）、2団体）、ウェブ参加11人（6社（市内1社）・4団体） 第2回8/26：BCP策定ワークショップ 10人（8社） 第3回11/15、11/16：BCP策定個別相談会4社8人 第4回12/13：BCP机上訓練（体験会）4社10人	○BCP策定支援事業（全3回）を開催 第1回 10/10 BCP策定セミナー/ワークショップ 第1部リアル参加3人（2社（市内2社））、ウェブ参加4人（3社（市内3社）・1団体） 第2部2人（1社（市内1社）） 第2回 11/13、11/22 BCP策定個別相談会4人（2社（市内2社）） 第3回 12/11 BCP机上訓練（体験会）5人（3社（市内3社））	○BCP策定支援事業（全3回）を開催予定 第1回 9/20 風水害24体験会 7社（市内3社）8人参加 第2回 10/18 BCP策定ワークショップ 1社（市内1社）2人参加 第3回 11/14、11/18 BCP策定個別相談会 2社（市内2社）5人参加	○BCP策定支援事業（全3回）を開催予定 第1回 9/17 BCP策定セミナー&ワークショップ ゲストを招いた事例セミナーを実施。 7社（市内4社）8人参加 第2回 10/8 BCP机上訓練（体験会） 20名定員（10社 1社2名程度）で実施 第3回 11/4、11/5 BCP策定個別相談会 10社程度定員 で実施	連携協定を結ぶ企業との共催により4年間で延べ60社以上にセミナー・ワークショップに参加いただいた。このセミナーを機に実際にBCP案を策定する企業が出てくるなど、各社での災害の備えへの意識を向上することができた。	帝国データバンクによると、2025年現在で策定率が2割を超え、徐々に増えてはいるものの、策定中、検討中を除いた未策定の割合は4割を超えている。京都でも策定意向ありとする企業は5割程度あり、その重要性の啓発が引き続き必要。イベントの集客も引き続き課題である。
	市と連携協定を締結している企業や金融機関、宇治商工会議所と連携して、事業者のBCP策定を促すための実践的なセミナー・ワークショップを実施						
区分	事業内容	R4実績	R5実績	R6実績	R7見込	成果	課題
拡充	各種制度の周知	○制度パンフレット2,000部作成し、企業訪問にて配付	○制度パンフレットを企業訪問にて配付	○制度パンフレットを企業訪問にて配付	○制度パンフレットを企業訪問にて配付	企業訪問や、ホームページ、メールマガジン等の様々な媒体を用いて制度周知に努めることができた。	各種制度の周知については、SNSやパンフレット配布など複数の手段を用いて実施しているものの、情報の受け取り手によって好む入手経路が異なるため、全ての事業者に効果的に届けることが難しい。
	市内事業者向けに市や商工会議所等の各種制度を周知するため、SNSでの発信や企業訪問等でパンフレットを配付	○宇治NEXTのホームページ、メールマガジン、フェイスブック、インスタグラム等を活用し、施策情報をタイムリーに情報発信 ・フェイスブック投稿実績 64回 ・メルマガ実績 257人登録、32回配信	○宇治NEXTのホームページ、メールマガジン、フェイスブック、インスタグラム等を活用し、施策情報をタイムリーに情報発信 ・フェイスブック投稿実績 29回 ・Instagram投稿実績 34回 ・メルマガ実績 254人登録、36回配信	○宇治NEXTのホームページ、メールマガジン、フェイスブック、インスタグラム等を活用し、施策情報をタイムリーに情報発信 ・フェイスブック投稿実績 39回 ・Instagram投稿実績 56回 ・メルマガ実績 281人登録、19回配信	○宇治NEXTのホームページ、メールマガジン、フェイスブック、インスタグラム等を活用し、施策情報をタイムリーに情報発信 ・フェイスブック投稿実績 16回（9/19現在） ・Instagram投稿実績 28回（9/25現在） ・メルマガ実績 282人登録、10回配信（9/19現在）	○市政だよりを活用し施策情報を情報発信	また、制度の必要性が高い事業者に確実に情報が届いているかどうかを客観的に検証する仕組みが十分でなく、発信効果の測定や改善につなげにくい
拡充	農業者への情報発信	○メールマガジンの配信：2回	○メールマガジンの配信 6回	○メールマガジンの配信 6回	○メールマガジンの配信 20回（予定） ※9/16時点12回	メールマガジン配信希望者に効果的に情報を提供できた。	メールマガジンの配信内容を充実させつつ、配信希望者を増やしていくことが必要。
	行政の支援事業や民間団体等の農業関連イベント等の情報を一元化し、しおりやSNS・メールマガジン等を通じてわかりやすく提供	○ホームページでの情報掲載	○ホームページでの情報掲載 個々の補助事業の掲載	○ホームページでの情報掲載 補助事業のしおり掲載、個々の補助事業の掲載	○ホームページでの情報掲載 補助事業のしおり掲載、個々の補助事業の掲載	○補助事業説明会の実施 4/16 10人	農業関連補助事業をまとめたしおりを作成し、R6以降は、年度はじめにホームページへ掲載することで、広く補助事業を知ってもらう機会を作れた。
拡充	農業振興にかかる各種公的助成金、補助金の申請支援	○市政だよりを活用し施策情報を発信	○市政だよりを活用し施策情報を発信	○市政だよりを活用し施策情報を情報発信	○市政だよりを活用し施策情報を情報発信	年度当初にJAと連携し、説明会を実施し、農業振興協議会を早期に開催することで、農業者への制度の浸透がより図れた。	説明会の実施時期を年度はじめにした上で、より多くの農業者に参加してもらう必要がある。
	農業振興にかかる国や京都府、市の補助金、税の減免等に関する情報提供や申請の支援	○個別による事業内容説明 8月中旬～9月上旬 16人	○個別による事業内容説明 8月中旬～9月上旬 16人	○宇治市農業振興協議会で事業内容説明 8/21	○個別による事業内容説明 4月～3月（年間を通して実施）	その他、年間を通して補助金等の案内を農業者に対して個別に実施	個別説明についても、積極的に行っていくことが必要。農業者が気軽に相談できるような環境作りが必要。
拡充	企業立地助成金の活用支援	○令和4年3月25日付で条例及び条例施行規則を改正し令和4年度から制度を拡充 ＜拡充した制度内容＞ 取得又は賃借をした建物の延床面積が300㎡以上のものについても、新たに助成対象指定要件に追加し、助成金を交付することとした。	○R5年度指定2社 うち、R4年度に拡充した要件での指定2社	○R6年度指定3社 うち、R4年度に拡充した要件での指定2社	○R7年度指定5社 うち、R4年度に拡充した要件での指定0社 うち、国道24号沿道安田町地区ものつくりエリア立地企業3社	R4年度に制度拡充を行ったことにより、これまで本制度にて支援ができなかった敷地内増設についても支援が可能となり、市内既存企業の市内定着や事業規模拡大の支援を実施することができた。	現在、本市では先端産業の本店等における指定要件として、地元新規雇用を必須条件としている。しかしながら、企業における人材確保は一層厳しさを増しており、要件の緩和を行う市町村も見られる。このため、本市においても、要件緩和の是非について検討を進める必要がある。
	市内で工場の新設や規模の拡張をする企業を支援するため、条例に基づき市の助成金を交付 面積要件を満たさない場合も一定要件を満たす場合は同条例の助成対象に拡大	○令和4年度指定4社 うち、拡充した要件での指定1社	○助成金交付7社11件	○助成金交付6社9件	○助成金交付7社10件（見込）		

区分	事業内容	R4実績	R5実績	R6実績	R7見込	成果	課題	
継続	産業支援拠点「宇治NEXT」の運営	<ul style="list-style-type: none"> ○市産業振興課、宇治商工会議所、市委託の企業支援機関による企業支援活動を実施 400件（訪問191件、来所86件、他123件） ○定例ミーティングの実施（市産業振興課、宇治商工会議所、市委託の企業支援機関） 	<ul style="list-style-type: none"> ○市産業振興課、宇治商工会議所、市委託の企業支援機関による企業支援活動を実施 371件（訪問170件、来所83件、他121件） ○定例ミーティングの実施（市産業振興課、宇治商工会議所、市委託の企業支援機関） 	<ul style="list-style-type: none"> ○市産業振興課、宇治商工会議所、市委託の企業支援機関による企業支援活動を実施 386件（訪問192件、来所90件、他104件） ○定例ミーティングの実施（市産業振興課、宇治商工会議所、市委託の企業支援機関） 	<ul style="list-style-type: none"> ○市産業振興課、宇治商工会議所、市委託の企業支援機関による企業支援活動を実施 141件（訪問86件、来所29件、他26件）（9/19時点） ○定例ミーティングの実施（市産業振興課、宇治商工会議所、市委託の企業支援機関） 	補助金や助成金の支援だけでなく、人材確保・育成や異業種交流による事業者間の交流促進など、事業者に寄り添った支援を実施した。	物価高騰や人手不足等が続いていることから、引き続き関係機関との情報共有や連携強化が求められる。	
	専門機関と連携した支援	<ul style="list-style-type: none"> ○企業支援コーディネーター（週4日駐在）が、主に製造業の事業者に対して、国・府の補助金申請や企業間マッチング等の支援を実施 ○下請かけこみ寺巡回相談会を開催（4/13、9/14） ○BCPセミナーの開催 【（1）①BCP策定への支援に記載】 ○夏休み期間子ども向けものづくりイベントに参加する事業者向けワークショップの開催【（2）①市内事業者や市内産品の情報発信に記載】 ○宇治市内企業後継者育成セミナーの開催【（2）③経営者やアトツギのコミュニティ形成の支援に記載】 	<ul style="list-style-type: none"> ○企業支援コーディネーター（週4日駐在）が、主に製造業の事業者に対して、国・府の補助金申請や企業間マッチング等の支援を実施 ○BCPセミナーの開催 【（1）①BCP策定への支援に記載】 ○宇治市内企業後継者育成セミナーの開催【（2）③経営者やアトツギのコミュニティ形成の支援に記載】 ○サイバーリスク対策セミナーの開催 9/20 9社 	<ul style="list-style-type: none"> ○企業支援コーディネーター（週4日駐在）が、主に製造業の事業者に対して、国・府の補助金申請や企業間マッチング等の支援を実施 ○BCPセミナーの開催 【（1）①BCP策定への支援に記載】 ○宇治市内企業後継者育成セミナーの開催【（2）③経営者やアトツギのコミュニティ形成の支援に記載】 	<ul style="list-style-type: none"> ○企業支援コーディネーター（週4日駐在）が、主に製造業の事業者に対して、国・府の補助金申請や企業間マッチング等の支援を実施 ○BCPセミナーの開催 【（1）①BCP策定への支援に記載】 ○宇治市内企業後継者育成セミナーの開催【（2）③経営者やアトツギのコミュニティ形成の支援に記載】 	<ul style="list-style-type: none"> ○企業支援コーディネーターによる補助金申請支援や企業間のマッチング等、事業者のニーズに応じた支援を実施した。 ○BCPセミナーの開催 【（1）①BCP策定への支援に記載】 ○宇治市内企業後継者育成セミナーの開催【（2）③経営者やアトツギのコミュニティ形成の支援に記載】 	<ul style="list-style-type: none"> ○企業支援コーディネーターによる補助金申請支援や企業間のマッチング等、事業者のニーズに応じた支援を実施した。 ○BCPセミナーの開催 【（1）①BCP策定への支援に記載】 ○宇治市内企業後継者育成セミナーの開催【（2）③経営者やアトツギのコミュニティ形成の支援に記載】 	<ul style="list-style-type: none"> ○企業支援コーディネーターによる補助金申請支援や企業間のマッチング等、事業者のニーズに応じた支援を実施した。 ○BCPセミナーの開催 【（1）①BCP策定への支援に記載】 ○宇治市内企業後継者育成セミナーの開催【（2）③経営者やアトツギのコミュニティ形成の支援に記載】
継続	各種公的助成金、補助金の申請支援	<ul style="list-style-type: none"> ○スマートフォンの新設や設備投資に対する国や京都府、市の補助金、税の減免等に関する情報提供や申請の支援 	<ul style="list-style-type: none"> ○スマートフォンの新設や設備投資に対する国や京都府、市の補助金、税の減免等に関する情報提供や申請の支援 	<ul style="list-style-type: none"> ○スマートフォンの新設や設備投資に対する国や京都府、市の補助金、税の減免等に関する情報提供や申請の支援 	<ul style="list-style-type: none"> ○スマートフォンの新設や設備投資に対する国や京都府、市の補助金、税の減免等に関する情報提供や申請の支援 	<ul style="list-style-type: none"> ○スマートフォンの新設や設備投資に対する国や京都府、市の補助金、税の減免等に関する情報提供や申請の支援 	<ul style="list-style-type: none"> ○スマートフォンの新設や設備投資に対する国や京都府、市の補助金、税の減免等に関する情報提供や申請の支援 	
	商店街等の消費拡大に向けた取組	<ul style="list-style-type: none"> ○スマートフォンで利用可能なプレミアム付きデジタルクーポン事業を実施（宇治のお店おうえんクーポン事業） <ul style="list-style-type: none"> ・プレミアム率：40% ・店舗募集：10/26～1/31 ・クーポン販売・使用期間：12/1～2/28 1セット5,000円（2.5万セット完売） 1人あたり4セット購入可能 	<ul style="list-style-type: none"> ○スマートフォンで利用可能なプレミアム付きデジタルクーポン事業を実施（うじの生活おうえんクーポン事業） <ul style="list-style-type: none"> ・プレミアム率 共通券30%、個店券40% ・店舗募集 8/23～12/28 ・販売冊数 共通券7万セット、個店券5万セット ・1セット5,000円 ◎共通券1セット 6500円分 ◎個店券1セット 7000円分 ・クーポン使用期間 1期2期ともに2/29まで 第1期分 <ul style="list-style-type: none"> ・クーポン販売期間 10/2～11/29 ・販売対象者 宇治市民(市内在住の人) ・購入可能冊数 1人各1セット 第2期分 <ul style="list-style-type: none"> ・クーポン販売期間 12/8～2/29 ・対象者 宇治市民(市内在住の人)、市内在学・在勤者 ・購入可能冊数 1人各2セット 	<ul style="list-style-type: none"> ○宇治市おでかけ商品券（納税）事業の加盟店内加盟店舗数14 プレミアム付きデジタルクーポン事業と同様の仕組みである「おでかけ商品券事業」を案内し事業者のキャッシュレス化導入の足掛かりとなるよう支援 ○CANVA講座（全3回） 無料のグラフィックデザインツールを活用し、予算をかけずにビジネスで使える制作物を事業者自身で作れるよう支援 <ul style="list-style-type: none"> ・2/5 11名 ・2/12 15名 ・3/5 12名 	<ul style="list-style-type: none"> ○宇治市おでかけ商品券（納税）事業の加盟店内加盟店舗数32（9/19時点） プレミアム付きデジタルクーポン事業と同様の仕組みである「おでかけ商品券事業」を案内し事業者のキャッシュレス化導入の足掛かりとなるよう支援 ○生成AI活用講座 	<ul style="list-style-type: none"> ○デジタルクーポン事業やおでかけ商品券事業を実施することにより、キャッシュレス化の利便性について周知することはできた。 	<ul style="list-style-type: none"> ○デジタルクーポン事業やおでかけ商品券事業を実施することにより、キャッシュレス化の利便性について周知することはできた。 	<ul style="list-style-type: none"> ○デジタルクーポン事業やおでかけ商品券事業を実施することにより、キャッシュレス化の利便性について周知することはできた。
継続	商店街等への補助	<ul style="list-style-type: none"> ○活性化対策事業 3件 2,005千円 <ul style="list-style-type: none"> ・平等院表参道商店会：藤の花(活性化対策) ・宇治橋通商店街振興組合：宇治橋通り商店街 夏の感謝祭スマイルサタデー・クラフトビール夜市 ・宇治橋通商店街振興組合：宇治橋通り商店街 笑顔がいっぱい わんさかフェスタ ○情報化対策事業 2件 995千円 <ul style="list-style-type: none"> ・炭山陶器まつり実行委員会：炭山陶器まつり ・宇治観光土産品組合：「GET SMILE宇治だヨ！おみやげ集合ギフト～お土産 密にしました」第五弾 御中元バージョン ○販売促進支援事業 6件 5,950千円 <ul style="list-style-type: none"> ・タウン100番街商店会：タウン100番街プレミアムチケット ・協同組合平和堂同友店会アル・プラザ宇治東支部：アル・プラザ宇治東専門店街 生活全力応援セール プレミアム付お買物券 ・宇治観光土産品組合：「GET SMILE宇治だヨ！おみやげ集合ギフト～お土産 密にしました」第六弾 御歳暮バージョン ・宇治橋通商店街振興組合：宇治橋通り商店街 歳末感謝祭 ・宇治橋通商店街振興組合：宇治橋通り商店街 プレミアム付き商品券 ・宇治源氏タウン銘店会：源氏タウンタオル景品 	<ul style="list-style-type: none"> ○活性化対策事業 2件 1,216千円 <ul style="list-style-type: none"> ・平等院表参道商店会 藤の花 ・宇治橋通商店街振興組合 宇治橋通り商店街 笑顔がいっぱい わんさかフェスタ ○情報化対策事業 3件 1,474千円 <ul style="list-style-type: none"> ・炭山陶器まつり実行委員会 炭山陶器まつり ・宇治観光土産品組合 「GET SMILE宇治だヨ！おみやげ集合ギフト～お土産 密にしました」第七弾 御中元バージョン ・宇治商工会議所 「ご当地キャラを活用したWEB漫画」および「海外インフルエンサーを活用した観光PR」による宇治の情報発信事業 ○販売促進支援事業 6件 8,007千円 <ul style="list-style-type: none"> ・宇治橋通商店街振興組合 宇治橋通り商店街 夏の感謝祭スマイルサタデー クラフトビール夜市 ・協同組合平和堂同友店会アル・プラザ宇治東支部 アル・プラザ宇治東専門店街 生活全力応援セール プレミアム付お買物券 令和5年 第1弾 第2弾 ・タウン100番街商店会 タウン100番街プレミアムチケット ・宇治観光土産品組合 「GET SMILE宇治だヨ！おみやげ集合ギフト～お土産 密にしました」第八弾 御歳暮バージョン ・宇治商工会議所 宇治市観光大使を活用した宇治観光動画発信および誘客キャンペーン ・協同組合平和堂同友店会アル・プラザ宇治東支部 アル・プラザ宇治東専門店街 生活全力応援セール プレミアム付お買物券 令和5年 第3弾 	<ul style="list-style-type: none"> ○活性化対策事業 4件 2,736千円 <ul style="list-style-type: none"> ・平等院表参道商店会 藤の花 ・宇治橋通商店街振興組合 宇治橋通り商店街 笑顔がいっぱい わんさかフェスタ ・宇治橋通商店街振興組合 宇治橋通り商店街 夏の感謝祭スマイルサタデー クラフトビール夜市 ・小倉駅前商店会 防犯カメラリブレース ○情報化対策事業 4件 1,564千円 <ul style="list-style-type: none"> ・炭山陶器まつり実行委員会 炭山陶器まつり ・宇治観光土産品組合 「GET SMILE宇治だヨ！おみやげ集合ギフト～お土産 密にしました」第九弾 御中元バージョン ・宇治観光土産品組合 「GET SMILE宇治だヨ！おみやげ集合ギフト～お土産 密にしました」第十弾 御歳暮バージョン ・宇治商工会議所 「ご当地キャラを活用したWEB漫画」および「海外インフルエンサーを活用した観光PR」による宇治の情報発信事業 	<ul style="list-style-type: none"> ○活性化対策事業 3件 2,278千円 <ul style="list-style-type: none"> ・平等院表参道商店会 藤の花(活性化対策)278,000円 ・宇治橋通商店街振興組合 宇治橋通り商店街 笑顔がいっぱい わんさかフェスタ ・宇治橋通商店街振興組合 宇治橋通り商店街 夏の感謝祭スマイルサタデー クラフトビール夜市 ○情報化対策事業 4件 2,240千円 <ul style="list-style-type: none"> ・炭山陶器まつり実行委員会 炭山陶器まつり ・宇治観光土産品組合 「GET SMILE宇治だヨ！おみやげ集合ギフト～お土産 密にしました」第十一弾 御中元バージョン ・宇治観光土産品組合 「GET SMILE宇治だヨ！おみやげ集合ギフト～お土産 密にしました」第十二弾 御歳暮バージョン ・宇治商工会議所 「ご当地キャラ」および「多言語対応観光サイト」を活用した宇治の情報発信事業 	<ul style="list-style-type: none"> ○商店街等が行う活性化対策事業等に補助することにより、商店街等の振興に寄与することができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ○商店街等が行う活性化対策事業等に補助することにより、商店街等の振興に寄与することができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ○補助金の書類作成などに不慣れであったり、自身の商売と並行しながらであることから、商店街の負担は一定大きい。報告書や領収書の整理等は宇治NEXTによるサポートが必要である。府補助金を併用する事業もあるが、補助金が切れたときも自走してける仕組みを一緒に考える必要がある。

②新たな工業用地の確保

区分	事業内容	R4実績	R5実績	R6実績	R7見込	成果	課題
拡充	工業用地の確保	○宇治市の将来の土地利用計画を定める都市計画マスタープランを改定し、産業立地検討エリアを位置づけ（5月）	○宇治農業振興計画（農用地利用計画）の変更（1月） ※ものづくりエリア	○ものづくりエリアの一部工区（国道24号東側）について、開発事業者が開発許可・農地転用許可を受け用地造成に着手。（10月）	○ものづくりエリアの一部工区（国道24号東側）について、開発事業者による造成工事が完了（6月）。進出企業3社が工場建設開始	一部地域で造成工事が完了し、工場建設が開始されるなど、開発事業が進捗している。	造成工事未着手の工区について、開発が着実に進むよう、開発事業者への支援を継続する必要がある。
	国道24号沿道地区の企業立地に向けた土地利用転換等の取組を実施 産業立地検討エリアのうち、市道宇治横島線沿道地区・市道宇治白川線沿道地区への産業立地の調査検討	○地域未来投資促進法に基づく土地利用調整計画を策定 →京都府同意（9月）・変更同意(2月) ○同法に基づき進出意向の企業が行う地域経済牽引事業計画の作成を支援 →京都府承認（1～3月）	○都市計画国道24号沿道安田町地区地区計画の決定(1月) ※ものづくりエリア	○他の工区についても、開発等に向けた手続きの準備を進める。	○ものづくりエリアの他の工区（国道24号西側）について、開発事業者が用地造成に着手。（8月） ○残る工区についても、開発等に向けた手続きの準備を進める。 ○進出企業と地域連携に関する基本協定を締結（9月）	進出企業との協定締結により、今後の市内の経済活性化、定住人口確保等に向けた取組が進んだ。	産業立地が市内の経済活性化、定住人口確保等につながるよう、進出企業等との連携をより深める必要がある。

取組の方向性 市内産業の進化・発展

取組の柱 (2) 市内産業の成長支援

①販路拡大の支援

区分	事業内容	R4実績	R5実績	R6実績	R7見込	成果	課題
拡充	市内事業者や市内産品の情報発信	○夏休み期間に小学生向けイベント「宇治こども夏まつり ものづくりフェス&ツアー」を開催 ・ものづくりフェス=7/23(土)7社、申込不要、95組342人(うち子ども179人)参加 ・ものづくりツアー=8/2(火)8/6(土)8/22(月)、各日2社、延べ99組234人(うち子ども129人)申込、10組25人(うち子ども15人)参加 ○上記イベント開催にあたり、自社を掘り下げ、子どもにも分かりやすい説明を行うためのワークショップを開催(6/16、6/30) ○デザインウィーク京都期間中(2/18)に宇治ツアーを開催 ・23人(うち子ども13人)参加 ○企業情報誌の作成(8社を新規掲載、2月発行)	○夏休み期間に小学生向けイベント「宇治こども夏まつり ものづくりフェス&ツアー」を開催 ・ものづくりフェス 8/5 5社、延べ82組181人(うち子ども99人)申込 延べ57組140人(うち子ども71人)参加 ・ものづくりツアー 8/24、8/25 各日2社、延べ78組165人(うち子ども98人)申込、6組16人(うち子ども10人)参加 ○小学生向けイベント「宇治こども ものづくりフェス in アルブラ・マルシェ」を開催 ・10/21 3社 延べ44組109人(うち子ども65人)参加 ○オープンファクトリーツアーの開催 ・3/15 4社、3/16 7社 延べ22組41人参加(延べ35組73人申込) ○企業情報誌の作成(8社を新規掲載、2月発行)	○夏休み期間に小・中学生向けイベント「夏休み ものづくりフェス」を開催 8/2 宇治市産業振興センター 主催 宇治市・宇治商工会議所 共催 京都信用金庫 ものづくり体験コーナー8社、宇治ベンチャー企業 育成工場見学3社、セミナー2社、京都フェニックスパークオープンファクトリー8社 延べ272組670人(うち子ども363人)申込 延べ238組578人(うち子ども305人)参加 ○小学生向けイベント「宇治こども ものづくりフェス in アルブラ・マルシェ」を開催 ・4/20 4社 延べ48組72人(子ども)参加 ・10/19 5社 延べ145人(子ども)参加 ○企業情報誌の作成(7社を新規掲載、2月発行)	○夏休み期間に小・中学生向けイベント「夏休み ものづくりフェス」を開催 7/31 宇治市産業振興センター 主催 宇治市・宇治商工会議所 共催 京都信用金庫 ものづくり体験コーナー10社、宇治ベンチャー企業 育成工場見学2社、京都フェニックスパークオープンファクトリー8社 延べ345組899人(うち子ども474人)申込 延べ249組579人(うち子ども325人)参加 ○小学生向けイベント「宇治こども ものづくりフェス in アルブラ・マルシェ」を開催 ・4/26 4社 158人(子ども)参加 ・11/3 6社 予定 ○企業情報誌の作成(R3～R6掲載企業の総集編)	イベントに関しては、事後アンケートにおいてもものづくりの魅力が伝わった感想が多く、また企業名を覚えた参加者も多く市内ものづくり企業の理解促進を行うことができた。 また、夏休みのイベントを宇治市産業振興センターで実施することで、課題であった利活用、知名度の向上にも貢献した。 BtoBを目的とした企業情報誌を作成することにより、展示会での配布等を行うことができた。	夏休みのイベントに関しては、申込に対して当選者が少ないため、参加しなくても多くの人が参加できなかった。春と秋に実施しているイベントに関しては、参加企業が固定化しつつあり、新たな参加企業を呼び込む必要がある。
	宇治のうまいもん発信事業の実施	○YouTube「宇治飯うまいもんチャンネル」 撮影店舗：16店(累計延べ54店舗) 視聴回数：44,066回(累計60,651回) ○YouTube「宇治飯うまいもんチャンネル」の認知度を高め、集客促進を図るため、Instagramを活用した公式アンバサダー10人を募集 募集期間：11/1～11/30 Instagram投稿件数(店舗来店数)・・・243件 Instagramアカウントリーチ数・・・113,000人	○YouTube「宇治飯うまいもんチャンネル」 撮影店舗 17店(累計延べ71店舗) 視聴回数 201,927回(累計262,578回) ○YouTube「宇治飯うまいもんチャンネル」の認知度を高め、集客促進を図るため、Instagramを活用した二代目公式アンバサダー10人を募集 募集期間 11/1～11/30 Instagram投稿件数(店舗来店数) 133件 Instagramアカウントリーチ数 68,000人	○YouTube「宇治飯うまいもんチャンネル」 撮影店舗 21店(累計延べ92店舗) 視聴回数 480,558回(延べ743,136回) ○YouTube「宇治飯うまいもんチャンネル」の認知度を高め、集客促進を図るため、広報活動を行った	○YouTube「宇治飯うまいもんチャンネル」 撮影店舗 30店(延べ122店舗) ○YouTube「宇治飯うまいもんチャンネル」の認知度を高め、集客促進を図るため、広報活動を行う	YouTubeによる動画配信で、飲食店等の情報と魅力を効果的に発信することができた。 市内イベントでのPRブース出展による飲食店等の魅力発信を行い、撮影店舗の販路開拓や新規顧客獲得につなげることで、市内経済の活性化につなげることができた。 Instagram 3,257人 YouTubeチャンネル登録者数 4,000人	まだまだ知られていない市内飲食店等の情報発信に努める必要があり、宇治飯ブランドの認知拡大が急務。 併せて、多様なコンテンツとの組み合わせやイベント企画によって効果的な展開を検討する必要がある。 現状では30代後半から50代前半に視聴者層が集中しているため20代へ向けたアプローチを検討し、視聴者を増やす必要がある。
拡充	市内産農産物の流通促進や商談会の実施	○農業情報発信事業 宇治を食べようキャンペーン ・参加農業者：12人 ・参加飲食店：24件 ・マッチング件数：14件 「宇治を食べようキャンペーン」に先立ち、「マッチング商談会」を開催 8/30 ・農業者8人 ・飲食店10件	○マッチング商談会 8/9 農業者8人、飲食店等11件 ○京都食ビジネスプラットフォームのプロデューサーと若手農家の交流会 2/22 ○「京都フードテック基本構想」に基づく南部市場 オープンイノベーションラボ開設に向けたシンポジウム 2/27	○マッチング商談会 7/29 農業者9人、飲食店等12件 ○京都フードテック構想連携促進事業費 農園見学・生産者交流会 2/25予定	○マッチング商談会 7/22 農業者7人、飲食店等8件 ○京都フードテック基本構想にかかる 市内農業者・京都府・文教大学との意見交換会 8/25 ○京都フードテックエキスポ2025視察予定 10/2・10/3 ○農園見学・生産者交流会開催予定	生産者と実需者の新たなつながりができた。商談成立とはならない場合でも対面により貴重な意見交換が行えた。 市内生産者の現状に沿ったフードテック関連の事業に取り組む必要がある。	飲食店に限らず、幅広い業種との交流の機会が必要。また、実施後の交流継続に向けた取り組みが必要である。

区分	事業内容	R4実績	R5実績	R6実績	R7見込	成果	課題
継続	展示会への合同出展	○令和3年3月に実施した合同出展について、後追い調査を実施。 【出展成果】(令和4年9月末時点) ・見積総件数：26件 ・見積総額：約3,700万円 ・成約総数：18件 ・成約総額：580万円	○R6年6月開催の日本ものづくりワールド（機械要素技術展、会場 東京ビッグサイト）への出展に向けた、市内中小製造業の出展者募集、出展ブースの計画等、出展準備を実施。	○R6年6月開催の日本ものづくりワールド（機械要素技術展、会場 東京ビッグサイト）に出展。来場者数69,717人 ○R7年7月開催の未来モノづくり国際EXPO2025（会場 インテックス大阪）への出展に向けた、市内中小製造業の出展者募集、出展ブースの計画等、出展準備を実施。	○R8年7月開催の日本ものづくりワールド（機械要素技術展、会場 東京ビッグサイト）に出展に向けた、市内中小製造業の出展者募集、出展ブースの計画等、出展準備を実施。 ○R7年7月開催の未来モノづくり国際EXPO2025（会場 インテックス大阪）に出展。来場者数16,922人	日本ものづくりワールド（機械要素技術展）については、来場者数が前回出展時（令和4年3月）の19,875人から69,717人へと大幅に増加したことに伴い、本市ブースへの来場者も増加した。市内中小製造業の出展者からは、「将来的な取引につながりそうな案件が多かった」「出展者同士での商談も活発に行われた」といった声が寄せられている。	短期間では成約件数や金額の結果が出にくいため、長期的に事業効果を検討する必要がある。
	ベンチャー企業をはじめ小規模の製造業が自社の製品や技術等を広くPRし、販路拡大につなげるため、首都圏や海外で開催される展示商談会への合同出展を実施						
継続	展示会への出展補助	○展示会出展支援助成事業助成金制度内容を令和3年度に引き続き拡充し支援企業毎の総上限額を撤廃（3年度で上限100万円⇒なし） 1年度あたりの上限額を拡充（40万円/年度⇒60万円/年度） 補助率の拡充（1/2⇒4/5） ・助成件数 30件 ・助成金額 10,596千円	○展示会出展支援助成事業助成金制度内容を緩和し支援企業毎の総上限額を撤廃（3年度で上限100万円⇒なし） ただし、1年度あたりの上限額と補助率は従来の内容に（40万円/年度、補助率1/2） ・助成件数 33件 ・助成金額 6,648千円	○展示会出展支援助成事業助成金新型コロナウイルスの影響により拡充していた制度内容を従来の制度にした。 （1企業3年度まで、合計助成額上限100万円） （40万円/年度、補助率1/2） ・助成件数 15件 ・助成金額 3,504千円	○展示会出展支援助成事業助成金（1企業3年度まで、合計助成額上限100万円） （40万円/年度、補助率1/2） ・申請件数 5件（9/19時点）	R4～6年度合計で、名刺交換42,413件 商談件数1,692件 取引成立726件 取引成立額1,614百万円の結果となったことから（各社事業終了報告時点）、販路拡大への支援につながった。	本事業は平成13年度から実施しており、「1企業3年度まで」という要件により、現在は利用できない事業者が増えている。こうした中、事業者からは要件の見直しを求める声が寄せられている。
	市内中小企業が自社の製品等を展示会等に出展する場合の経費の一部を補助						
継続	商工会議所と連携した販路拡大の促進	○商工会議所が実施する特別事業に対して市補助金を交付（商業活力再生支援事業費補助金） 上限額300万円/年 ・地場産品PR事業（食品展示会出展） ・インターネット通販サイトを活用した市内事業所PR ・市内消費喚起促進事業（イベント開催）等	○商工会議所が実施する特別事業に対して市補助金を交付（商業活力再生支援事業費補助金） 上限額300万円/年 ・「FOOD STYLE Japan2023」、「FOODEX JAPAN 2024」への市内事業者出店サポート ・「京都宇治土産.com」により地域産品・地域情報を発信 ・ご当地キャラクター活動にて国内外での誘客・消費喚起・魅力を発信 ・マルシェえんにち(9/30)の実施によるPRと消費喚起	○商工会議所が実施する特別事業に対して市補助金を交付（商業活力再生支援事業費補助金） 上限額300万円/年 ・「FOOD STYLE Japan2024」、「FOODEX JAPAN 2025」への市内事業者出店サポート ・「京都宇治土産.com」により地域産品・地域情報を発信 ・ご当地キャラクター活動にて国内外での誘客・消費喚起・魅力を発信 ・マルシェえんにち(10/13)の実施によるPRと消費喚起	○商工会議所が実施する特別事業に対して市補助金を交付（商業活力再生支援事業費補助金） 上限額300万円/年 ・地場産品PR事業（食品展示会出展） ・インターネット通販サイトを活用した市内事業所PR ・市内消費喚起促進事業（イベント開催）等	商工会議所が行う販路開拓支援事業等に補助することにより、地場産品PRやにぎわいづくり、人材育成に寄与することができた。	より多くの人に効果的に地域産品を購入してもらえるよう、実施内容の精査・検討が必要。
	商工会議所が実施する事業者の国内外への販路開拓支援や商店街等の賑わいを創出する事業等に対し補助金を交付						
継続	海外輸出の支援	○R4年度は新型コロナウイルス感染症の影響により中止	○新型コロナウイルス感染症は5類に移行したが、海外では対面実施する風潮ではないと判断し中止	○商工会議所が実施する特別事業に対して市補助金を交付（商業活力再生支援事業費補助金）する。 上限額300万円/年	○商工会議所が実施する特別事業に対して市補助金を交付（商業活力再生支援事業費補助金）する。 上限額300万円/年	R5年度は現地へ渡航できなかったが、R6度以降は「FOODEX JAPAN 2025」等において海外取引が可能な事業者とのつながりを作ることができた。	現地での実施が難しい場合、事業者ニーズも踏まえ、オンライン等を活用した海外輸出支援方法の実施・検討が必要。
	市内事業者の海外輸出を支援						

②生産性の向上や付加価値の増加に対する支援

区分	事業内容	R4実績	R5実績	R6実績	R7見込	成果	課題
新規	高収益作物への転換支援	○園芸作物用施設整備支援事業 支援件数：2件	○園芸作物用施設整備支援事業 支援件数 4件	○園芸作物用施設整備支援事業 支援件数 5件	○園芸作物用施設整備支援事業 支援件数 5件	JA事業にて賃貸借でパイプハウスを利用する農業者に対し、リース料を助成することで、農業者の負担軽減、新たなチャレンジ、営農活動を支援することができた。	必要とする支援が市内生産者に届くよう周知を強化する必要がある。
	ハウスの設置等の高収益作物への転換を支援	○新規水源確保支援事業 支援件数：4件	○新規水源確保支援事業 支援件数 2件	○新規水源確保支援事業 支援件数 0件	○新規水源確保支援事業 支援件数 0件		
区分	事業内容	R4実績	R5実績	R6実績	R7見込	成果	課題
拡充	農業経営の安定化・効率化への支援	○スマート農業技術導入支援事業 支援件数：1件	○スマート農業技術導入支援事業 支援件数 0件	○スマート農業技術導入支援事業 支援件数 3件	○スマート農業技術導入支援事業 支援件数 4件	GPS機能付きの機械及び高精度ECセンサの導入による作業の効率化、省力化につながる支援ができた。	必要とする支援が市内生産者に届くよう周知を強化する必要がある。
	経営の専門家活用や経営計画の策定、付加価値向上・販路拡大に資するICT活用等の新技術導入等、農業経営の安定化や効率化への支援	○農業経営レベルアップサポート事業 支援件数：0件	○農業経営レベルアップサポート事業 支援件数 0件	○農業経営レベルアップサポート事業 支援件数 0件	○農業経営レベルアップサポート事業 支援件数 0件	また農業者が取り組む農産物の販路拡大に向けた活動に対して支援ができた。	
拡充	設備投資への支援	○先端設備等導入支援事業 先端設備等導入支援補助金を新規事業として創設 補助件数：12件（設備数：14件） 補助金額：6,052千円	○先端設備等導入支援事業 先端設備等導入支援補助金 交付決定件数 23件（設備数 37件） 補助見込額 14,356千円	○先端設備等導入支援事業 先端設備等導入支援補助金 交付決定件数 23件（設備数 33件） 補助見込額 13,497千円	○先端設備等導入支援事業 先端設備等導入支援補助金 交付決定件数 27件（設備数 47件） 補助見込額 35,000千円（9月19日時点）	先端設備等導入計画により年平均3%以上の労働生産性の向上等の要件が確認された設備投資のうち、国や京都府等が実施する補助金等を活用できない設備投資について支援を行うことができた。	省エネ機器をはじめとした器具備品の申請が多く、より事業者の労働生産性向上に直接寄与する記載設備の申請が少ない。
	先端設備等の取得に要する経費とDX推進にかかる経費の一部を補助 また、生産性や生産効率の向上等、現場改善や経営力向上のための設備投資に対する低利融資の拡充					また、R5年度については制度拡充を年度途中に行い、先端設備等導入計画に従業員の賃上げ方針の表明を位置付けた事業者に対しては補助上限を引き上げることで、事業者の積極的な従業員に対する賃上げに寄与することができた。	
拡充	委託研究等に対する補助						
	技術革新のために行う産学連携事業や大学等に研究委託等を実施する場合の経費の一部を補助	取り組み無し	取り組み無し	取り組み無し	取り組み無し	-	-
区分	事業内容	R4実績	R5実績	R6実績	R7見込	成果	課題
継続	低利融資制度の実施	○宇治市中小企業低利融資制度（マル宇）を実施 （信用保証料と利子の一部への補助も実施）	○宇治市中小企業低利融資制度（マル宇）を実施 （信用保証料と利子の一部への補助も実施） 保証料補給 403件38,980千円 利子補給 998件83,852千円	○宇治市中小企業低利融資制度（マル宇）を実施 （信用保証料と利子の一部への補助も実施） 保証料補給 368件35,736千円 利子補給 1,037件86,255千円	○宇治市中小企業低利融資制度（マル宇）を実施 （信用保証料と利子の一部への補助も実施）	市内事業者に対し、事業資金の低利融資や保証料・利子の補給などを行うことにより、中小企業経営の安定化に務めることができた。	市の財政負担を鑑み、制度の在り方については随時検討していく必要がある。
	市内事業者の経営の安定を図るため、事業資金として低利・無担保での融資を実施、あわせて保証料や利子の一部を補給	○小規模事業者経営改善資金（マル経）の利子の一部への補助	○小規模事業者経営改善資金（マル経）の利子の一部への補助 利子補給 179件8,851千円	○小規模事業者経営改善資金（マル経）の利子の一部への補助 利子補給 149件9,468千円	○小規模事業者経営改善資金（マル経）の利子の一部への補助		
継続	先端設備導入に係る償却資産税の減免	○先端設備導入計画の認定件数 32件 （新規11件、変更21件） ※主に、製造業の事業者が機械装置の設備投資を実施	○先端設備導入計画の認定件数 34件 （新規31件、変更3件） ※R5年度の税制改正によりR5年4月1日以降に初めて先端設備等導入計画の認定申請を行う場合は、全て新規申請	○先端設備導入計画の認定件数 31件 （新規24件、変更7件）	○先端設備導入計画の認定件数 33件 （新規24件、変更9件）	固定資産税の軽減措置を実施することで労働生産性の向上を目的とした事業者の設備投資を支援することができた。	事業者が認定申請を行う際に必要となる添付書類を作成する「認定経営等革新支援機関」に対して国が行うべき周知が不足している（本制度の制度設計は国が実施）。
	先端設備等導入計画を策定する企業に対して、導入予定の設備等にかかる固定資産税を最大3年間免除						
継続	資格取得に対する補助	○助成金交付件数 6件（4社、延べ8人） 助成金額 計118,000円	○助成金交付件数 1件（1社、延べ2人） 助成金額 計14,000円	○助成金交付件数 9件（4社、延べ11人） 助成金額 計131,000円	○事業承認件数 7件（6社、延べ11人） 助成見込額 計175,000円	市内事業所の従業員が技能検定や技能士、管理責任者の資格等取得する支援を実施したことにより、当該事業所の従業員のスキルアップを支援できた。	資格や免許の取得は経費の一部を補助することで支援が出来ているが、資格取得以外の人材育成支援についての支援も必要。
	従業員のスキルアップ（資格・免許等の取得や研修会等の受講）に要する経費等の一部を補助						

③円滑な事業承継の支援

区分	事業内容	R4実績	R5実績	R6実績	R7見込	成果	課題
拡充	経営者やアトツギのコミュニティ形成の支援	○京都信用保証協会とアトツギ（事業承継）に関するプログラムを開催 ・第1期（7/27、8/25） テーマ：ブランディング・商品開発（参加者11人） ・第2期（9/14、10/12） テーマ：会計（税務・財務）（参加者8人） ・第3期（11/24、12/8） テーマ：売れる仕組みづくり（参加者10人） ・第4期（2/9、2/22） テーマ：新たなビジネスモデルの構築（参加者15人） ・Meet-Up（12/14）講演+交流会（参加者22人） ・Meet-Up（3/23）講演+交流会（参加者16人） ○宇治市内企業後継者育成セミナー 製造業種に限定した後継者支援 ・セミナー&交流会 全4回 参加者数 延べ30人	○京都信用保証協会とアトツギ（事業承継）に関するプログラムを開催 ・アトツギらぼ LEADERS CAMP 全5回 参加者 16人（延べ57人） 9/21 13人 10/ 6 10人 10/18 11人 11/ 8 11人 12/ 2 12人 ○宇治市内企業後継者育成セミナー 製造業種に限定した後継者支援 ・セミナー&交流会 全6回 参加者数 延べ34人	○後継者向け伴走支援プログラム「アトツギらぼ」 ・ワークショップ 全6回 9/13 11人、9/17 11人、10/3 10人、 10/25 10人、11/14 9人、12/5 11人 ・オンラインレビュー 全4回 9/24 7人、10/15 4人、11/5 5人、 11/26 7人 ・1on1メンタリング 第1回11人 第2回11人 ・プレゼン練習会 11/28 2人、12/3 5人 プログラム参加者 12人 ○宇治市内企業後継者育成セミナー 製造業種に限定した後継者支援 ・セミナー&交流会 全4回 参加者数 延べ21人	○後継者向け伴走支援プログラム「アトツギらぼ」 円滑な事業継承に向けた価値観のバトンタッチがテーマ ・セミナー&ワークショップ 全5回 MEETUP 9/9 29人 （アトツギ17人、先代4人ほか） 本プログラム 10/8、10/23、11/6、12/11 各回16人 ・グループメンタリング 1. 10月下旬～11月上旬 16人 2. 11月中下旬～12月上旬 16人 ○宇治市内企業後継者育成セミナー 製造業種に限定した後継者支援 ・セミナー&交流会 全3回（10～1月） ・新たな取組報告会 全1回（2～3月）	学びを入り口としたコミュニティの醸成、人材開発、自社の深堀、新規事業開発と年度ごとにステップアップした内容で実施することができた。毎年度、過去からの連続参加が半数弱で新規メンバーが参加されるという傾向となっておりコミュニティの進化と広がりにもつながっていると感じている。 実際に参加期間中に後継がれたり、新規事業の立ち上げを行う参加者も出てきている。 R4～R6で延べ87人にご参加いただいた。 宇治市内企業後継者育成セミナーの目的の一つとして、後継者同士の交流を深め、相互に相談・研鑽できる関係を築き、新たな経営者間ネットワークを構築することを掲げている。現在、その目的に沿って着実に交流が深まっている。	取組自体の発信により、宇治市でのアトツギコミュニティが醸成されていることを知らせる必要がある。これにより、支援を必要とする方へのアプローチを行い、地域に潜んでいるアトツギの掘り起こし強化を行なって円滑な事業承継を支援する必要がある。今後中長期的に後継者支援を行うため、域内のアトツギ支援エコシステム構築に向けた支援機関の連携が欠かせない。 新たな経営者間のネットワーク作りについては順調に育まれている一方で、セミナーのアウトプット（先輩社長の経験談や成功体験を踏まえて、どのような新たな取組を実施したか等）の意識づけが不十分である。
	拡充	担い手への農地集積を支援	○農地中間管理事業 貸借：7件 1.52ha	○農地中間管理事業 貸借 7件 1.52ha	○農地中間管理事業 貸借 1件 0.14ha 売買 3件 0.74ha	○農地中間管理事業 貸借 16件 5.13ha （※すべて終期を迎える案件の更新） 売買 1件 0.15ha	農地の借受希望及び貸付希望の公募を支援し、マッチングを行った。農地を担い手へ集積し、耕作放棄地化の解消・防止とともに担い手の農業経営基盤を強化した。

取組の方向性 市内産業の進化・発展

取組の柱 (3) 人材不足への対応

①雇用の確保

区分	事業内容	R4実績	R5実績	R6実績	R7見込	成果	課題
拡充	WEBを活用した雇用・就労支援	取り組み無し	○人材確保を目的とした企業紹介動画コンテンツの制作（宇治市内企業PR動画作成事業）制作対象企業数 12社	○人材確保を目的とした企業紹介動画コンテンツの制作（宇治市内企業PR動画作成事業）制作対象企業数 6社 ○PR動画活用セミナー開催 参加者数 3社	○人材確保を目的とした企業紹介動画コンテンツの制作（宇治市内企業PR動画作成事業）制作対象企業数 8社 ○人材採用セミナー開催（11/5）	3年間にわたり事業を実施し、動画作成を希望する事業者のニーズに応えることができた。作成した動画は、各事業者の求人ページや説明会等で活用されており、人材確保の支援につながっている。	動画作成により一定の成果を得られたが、依然として求職者に対する市内中小事業者の求人情報の発信は十分とはいえない。今後は、この分野における取組を強化していくことが求められる。
	求職者に向けたプロモーション動画を市内事業者が作成する支援を実施						
拡充	産学交流の推進	○京都大学宇治キャンパス産学交流会の案内を宇治NEXTメルマガで配信 ・第42回：市内事業者から8人参加 ・第43回：市内事業者から4人参加 ・第44回：市内事業者から1人参加 ・第45回：市内事業者から4人参加 ○京都工芸繊維大学「技術交流会」の案内を宇治NEXTメルマガで配信 ・市内事業者から2社参加 ○年4回、大学の見学会や大学との交流会（産学連携交流事業）を開催 ・第1回（10/11）＝京都先端科学大学 10社11人が参加 ・第2回（12/7）＝京都工芸繊維大学 4社6人が参加 ・第3回（12/15）＝龍谷大学 7社7人が参加 ・第4回（12/20）＝立命館大学 4社5人が参加	○京都大学宇治キャンパス産学交流会の案内を宇治NEXTメルマガで配信 ・第46回 市内事業者から9人参加 ・第47回 市内事業者から1人参加 ・第48回 市内事業者から2人参加 ・第49回 市内事業者から5人参加 ○京都先端科学大学 キャップストーンコンソーシアムへの参画 ○京都工芸繊維大学 プロダクトデザインセミナー ・第1回 2/6 内容 デザイン思考を用いた新商品・新製品の開発をテーマとした講義 参加 9人 ・第2回 2/13 内容 デザイン思考を学ぶブレインストーミングとビジュアルコラージュ作成 参加 10人	○京都大学宇治キャンパス産学交流会の案内を宇治NEXTメルマガで配信 ・第50回 市内事業者から2人参加 ・第51回 市内事業者から3人参加 ・第52回 市内事業者から5人参加 ・第53回 市内事業者から0人参加 ○京都先端科学大学 キャップストーンコンソーシアムへの参画 ○夏休み期間に小中学生向けイベント「夏休みものづくりフェス」内で大学や企業がセミナーを開催 3セミナー100人（うち小中学生50人）が参加	○京都大学宇治キャンパス産学交流会の案内を宇治NEXTメルマガで配信 ・第54回 市内事業者から3人参加 ○京都先端科学大学 キャップストーンコンソーシアムへの参画 ○市内中学生の職場体験 当該中学校区域の製造業者をマッチング	京都大学宇治キャンパス産学交流会や各大学との交流セミナーについて、市内事業者の参加を継続的に促進しており、一定数の参加実績が見られた。 京都工芸繊維大学でのデザイン思考をテーマとしたセミナーや、京都先端科学大学 キャップストーンコンソーシアムへの参画など、新たな形で産学連携の取組も進展した。 小・中学生を対象とした「夏休みものづくりフェス」や職場体験といった機会を通じ、若年層にもものづくりや科学技術への関心を高める試みも実施されており、裾野の広い交流促進につながった。	市内事業者の規模では開発に長期の期間や費用を投じることが現実的ではなく、大手企業が実施しているような産学連携は困難である。その中で、大学との連携や研究室、学生との関わりが生まれる事業を実施していく必要がある。 また、小中学生向けイベントについては企業や大学と共に事業を実施したが、中長期的に産学連携につながるような展開が必要である。
	京都大学宇治キャンパス産学交流会への市内事業者の参加促進とともに、理系大学研究室との交流セミナーを実施し、近畿圏内の理系大学を中心とした産学交流を推進						
拡充	市内事業者や市内産品の情報発信【再掲】	【(2)①「市内事業者や市内産品の情報発信」に掲載】					

区分	事業内容	R4実績	R5実績	R6実績	R7見込	成果	課題
継続	会社説明会の開催	○会社説明会を開催2回 11/17 参加事業者8社：求職者8人 1/26 参加事業者6社：求職者30人 市内事業者の人材確保等を目的に、ハローワーク、宇治商工会議所、京都ジョブパークと連携した会社説明会を開催	○会社説明会を概ね四半期ごとに開催 6/21 参加事業者7社 ※8社予定だったが台風で1社辞退 求職者34人 9/21（バート）参加事業者5社、求職者13人 11/21（就職氷河期世代支援）参加事業者3社、求職者15人 2/27（マザーズ）参加事業者4社、求職者8人 ※（）内はテーマ	○会社説明会を概ね四半期ごとに開催 6/27 参加事業者11社、求職者23人 9/27 参加事業者11社、求職者28人 採用2 11/21 参加事業者 7社、求職者13人 採用1 2/7 参加事業者 9社、求職者23人	○会社説明会を概ね四半期ごとに開催 6/26 参加事業者 7社、求職者10人 採用1 8/25 参加事業者 9社、求職者31人 12/2 参加事業者30社想定 2/20 参加事業者 5社想定	定期開催にすることにより、事業者の間でも認識が広がり参加企業は概ね7社以上は確保している。求職者の参加人数については安定がしないものの、その中でもR4～R6では13名の採用につなげることができた。R7は開催前にジョブパークと連携した就労支援セミナーを開催し、当説明会への導入ができた。	毎回の採用やコンスタントな求職者数の参加には至っておらず、近隣市町との連携や、開催テーマ、効果的な周知方法など、各種の検証が必要である。
	合同企業説明会の開催						
市内製造業の人材確保を支援するため、合同企業説明会等を開催							

②人材不足を補う取組への支援

区分	事業内容	R4実績	R5実績	R6実績	R7見込	成果	課題
拡充	設備投資への支援【再掲】	【(2)②「設備投資への支援」に掲載】					
拡充	先端設備等の取得に要する経費とDX推進にかかる経費の一部を補助 また、生産性や生産効率の向上等、現場改善や経営力向上のための設備投資に対する低利融資の拡充	【(2)②「設備投資への支援」に掲載】					

取組の方向性 交流・連携の強化

取組の柱 (4) 企業間や産学交流の推進

①異業種交流等の促進

区分	事業内容	R4実績	R5実績	R6実績	R7見込	成果	課題
新規	市内ものづくり企業の交流促進						
	商工会議所工業部会の交流会やVIF入居企業による事業報告会等による企業や事業者間の交流を促進	○宇治市内企業後継者育成セミナー 【(2)③「経営者やアトツギのコミュニティ形成の支援」に掲載】	○宇治市内企業後継者育成セミナー 【(2)③「経営者やアトツギのコミュニティ形成の支援」に掲載】	○宇治市内企業後継者育成セミナー 【(2)③「経営者やアトツギのコミュニティ形成の支援」に掲載】	○宇治市内企業後継者育成セミナー 【(2)③「経営者やアトツギのコミュニティ形成の支援」に掲載】	○宇治市内企業後継者育成セミナー ○大学の見学会や大学との交流会 はそれぞれ左記該当箇所に記載	○宇治市内企業後継者育成セミナー ○大学の見学会や大学との交流会 はそれぞれ左記該当箇所に記載
区分	事業内容	R4実績	R5実績	R6実績	R7見込	成果	課題
拡充	異業種交流会の開催	○交流セミナー開催 ・地元企業×学生交流会 (5/13) 学生15人、企業7社 ・新規事業支援セミナー (6/23、7/13) ・Zoom活用講座 (6/27) 12人 ・デザインの考え方講座 (10/26) 19人 ・SNS運用講座、創業支援セミナー 等	○交流セミナー開催 ・Open Talking スナックby TIP*S 5/26 9人 ・新規事業ボードゲーム 6/16 5人 ・うじ創業セミナー 全8回 30人 ・ビジネス思考のキホンのキ 11/10、11/24 10人 ・自分ブランド塾 1/26 20人 等	○交流セミナー開催 ・30秒の伝え方講座 6/28 21人 ・TIP*S 7/31 21人 ・伝わるスライドデザイン講座 8/6 16人 ・マーケティング戦略のキホンのキ 9/19 23人 ・うじ創業セミナー 全6回 23人 ・WEBプロモーションセミナー 全4回 13人 ・うじらば異業種交流会 5/24、7/26、9/20 計80人 ・ゼロから学ぶ起業入門講座 12/17 ・CANVA講座 全3回 15人	○交流セミナー開催 ・TIP*Sうまいく会社事例 6/19 13人 ・戦略のあるブランド設計とPR講座 全3回 12人 ・うじ創業セミナー 全6回 21人 ・複業人材活用セミナー 9/25 14人 ・SNSセミナー 1/22 ・TIP*S 1月 ・ChatGPT 予定 等	うじらばでのイベント実施件数は、R4/58件、R5/70件、R6/74件と推移しており多くの創業者、準備者、関心層への学びと交流を提供できた。把握している創業者数についてはこの3年間70～80名を推移している。各セミナーの満足度も高く、創業者同士や異業種での交流に刺激をうけたという意見をアンケートより多くいただいている。	うじらばでの取組について、主に宇治市HP、インスタグラム、Facebookを通して広報しているものの、このような取組、場所があることが知られていない。参加者募集時の広報のみならず、実施後のレポートなど、実際の声や雰囲気などの発信も適宜行う必要があると感じている。また、起業無関心層や潜在的起業関心層へのアプローチも試みているものの、どのような効果測定を行うのか、引き続き検討が必要。
	市内の企業や事業者のマッチング、先進的な取組を実施している市内の企業や事業者の知識や情報の共有を図ること等を目的として、企業や事業者を対象とした交流会を、うじらば等を活用して実施	○交流会開催 ・経営セミナー+社員向けワークショップ ・副業・パラレルキャリア はじめの一歩	○交流会開催 ・地域クラウド交流会 7/14 169人 ・うじらば大学デザインゼミ 全4回 17人	○交流会開催 ・スタプロ 5/18、6/22、7/27、8/24 計75人	○交流会開催 ・スタプロ 基礎講座 8/23 12人、9/13 9人 10/18、11/15 ・スタプロ 実践講座 8/22、9/19、10/10、10/31、11/16 12人		
拡充	産学交流の推進【再掲】			【(3)①「産学交流の推進」に掲載】			
	京都大学宇治キャンパス産学交流会への市内事業者の参加促進とともに、理系大学研究室との交流セミナーを実施し、近畿圏内の理系大学を中心とした産学交流を推進						
拡充	農商工が連携した商品開発や新ビジネスの支援			【(2)①「市内産農産物の流通促進や商談会の実施」に掲載】			
	農商工連携での新たな商品の開発や新たな生産手法により、農業生産額を向上させるため、生産者と加工・販売事業者等のマッチング等を実施						

取組の方向性 交流・連携の強化

取組の柱 (5) 市内産業の情報発信

①魅力的な市内事業者情報の発信

区分	事業内容	R4実績	R5実績	R6実績	R7見込	成果	課題
拡充	市内事業者や市内産品の情報発信【再掲】						
	市内製造業や伝統産業をPRするためのオープンファクトリー（工場や工房見学）の開催（一般向け、親子・学生向け）や、市内事業者や市内産品等の情報を情報誌やウェブサイトに掲載、市内事業者・起業家・商店街等を登録した「市内事業者バンク」を創設し、学校でのキャリア教育や地域でのノウハウの提供等、地域と企業を繋ぐ取り組みを推進				【(2)①「市内事業者や市内産品の情報発信」に掲載】		
拡充	宇治のうまいもん発信事業の実施【再掲】						
	市内事業者の応援と街の活性化を図るため、飲食店の「美味しい」料理や製造等の熟練した「上手い」技術等を撮影し、動画で発信				【(2)①「宇治のうまいもん発信事業の実施」に掲載】		
区分	事業内容	R4実績	R5実績	R6実績	R7見込	成果	課題
継続	技能功労者の表彰	○表彰式の開催 表彰式：11/23 表彰者数：8職種10人	○表彰式の開催 表彰式：11/23 表彰者数：5職種5人	○表彰式の開催 表彰式：11/23 表彰者数：5職種6人	○表彰式の開催 表彰式：11/23 表彰者数：6職種7人	技能者の功労を顕彰することで技能尊重の気運を高めることができた。	候補者数について過去3年間では微増しているが、R4年と比較すると減少傾向にある。
	技能水準の一層の向上と技能尊重の気運を高めることを目的に、永く同一の職業に従事し、優れた技能を持つ人を表彰						

②宇治ブランドの向上

区分	事業内容	R4実績	R5実績	R6実績	R7見込	成果	課題	
拡充	観光施策の実施	○京の七塔inUjiの実施 (実施主体：「京の七塔inUji」実行委員会) 京都ならではの現代版・七塔まつりとして実施されている「京の七塔」を宇治オリジナルの演出を加え実施。(8/4～8/11)	○京の七塔 in Ujiの実施 (実施主体 「京の七塔 in Uji」実行委員会) 参加者数 40,098人 京都ならではの現代版・七塔まつりとして実施されている「京の七塔」を宇治オリジナルの演出を加え実施。 ・8/4～8/11 宇治公園他 ライトアップ ・8/4～6・10・11 願いがかなう道	○京の七塔 in Ujiの実施 (実施主体 「京の七塔 in Uji」実行委員会) 参加者数 25,000人 京都ならではの現代版・七塔まつりとして実施されている「京の七塔」を宇治オリジナルの演出を加え実施。(8/2～8/4)	○京の七塔 in Ujiの実施 (実施主体 「京の七塔 in Uji」実行委員会) 参加者数 26,000人 京都ならではの現代版・七塔まつりとして実施されている「京の七塔」を宇治オリジナルの演出を加え実施。(8/1～8/3)	○京の七塔 in Ujiの実施 (実施主体 「京の七塔 in Uji」実行委員会) 参加者数 40,098人 京都ならではの現代版・七塔まつりとして実施されている「京の七塔」を宇治オリジナルの演出を加え実施。(8/1～8/3)	京の七塔 in Ujiについては、R4～R7にわたり毎年開催され、宇治公園等でのライトアップやオリジナル演出により、参加者数は最大40,098人(R5)を記録し、多くの観光客や市民を集客し、地域の魅力発信に成功した。	集客維持・拡大のための新たな魅力創出が必要であるとともに、地元の関わり方や事業実施に向けた財源の確保及びより効果的な広報が必要である。
	観光振興計画に基づき、豊富な観光資源を生かした、ワンランク上の観光事業に取り組む。また、宇治独自のブランド力を活用した新たな観光事業に取り組むとともに、自然や景観を活かした新たな観光資源の開発に向けた検討を実施	○放ち鶴飼&宇治の魅力体験ツアー (実施主体：公益社団法人 宇治市観光協会) 日本で初めて人工ふ化に成功したウミウの「ウッティー」たちが行う、綱を使用せず鶴匠の呼びかけで戻ってくる「放ち鶴飼」と宇治の魅力を感じさせるツアーを実施 6月 69人(4回) 10月 16人(1回) 11月 44人(4回)	○放ち鶴飼&宇治の魅力体験ツアー (実施主体 公益社団法人 宇治市観光協会) 日本で初めて人工ふ化に成功したウミウの「ウッティー」たちが行う、綱を使用せず鶴匠の呼びかけで戻ってくる「放ち鶴飼」と宇治の魅力を感じさせるツアーを実施 6月 69人(4回) 10月 16人(1回) 11月 44人(4回)	○鶴匠講演と「放ち鶴飼」見学 (実施主体 公益社団法人 宇治市観光協会) 日本で初めて人工ふ化に成功したウミウの「ウッティー」たちが行う、綱を使用せず鶴匠の呼びかけで戻ってくる「放ち鶴飼」の見学と鶴匠の講演を実施。 6月 133人(9回) 10月 64人(2回) 11月 42人(3回)	○鶴匠講演と「放ち鶴飼」見学(春)は未実施	○鶴匠講演と「放ち鶴飼」見学(春)は未実施	日本初の人工ふ化ウミウ「ウッティー」を使った放ち鶴飼を定期的に開催。参加者数も徐々に増加し、宇治の伝統文化と観光資源の活用に貢献できた。	参加者への付加価値化やニーズ把握により、効果的な広報宣伝について検討する必要がある。
拡充	魅力発信事業の実施	○市民参加型写真展の開催 京都文教大学と連携して、市民参加型の写真応募イベント「宇治ふおと！」を開催 ・イベント開催にあたりママさんフォトグラファーによるスマホ写真教室を開催(11/23=4組、12/14=10組) ・応募写真を、宇治橋商店街に展示	○ツーリズムEXPOジャパンへの参加 お茶の京都DMOとして、ツーリズムEXPOジャパンに参加し、10/26・27は観光事業者との商談を実施。10/28は一般客に向けてのPRを実施。	○ツーリズムEXPOジャパンへの参加 お茶の京都DMOとして、ツーリズムEXPOジャパンに参加し、9/26・27は観光事業者との商談を実施。9/28・29は一般客に向けてのPRを実施。	○大阪・関西万博関連PR ・関西バビリオン京都ブースへの出展 宇治田楽、宇治茶についてのPRを実施。10月には祭式部ゆかりのまちのPRを実施予定。 ・関西国際空港にある大阪・関西万博PRブースに参加	これまで市民参加型の写真展や親子向け体験企画、観光大使による情報発信、大河ドラマ展の開催、さらにはツーリズムEXPOやファミトリップなど国内外に向けた取組を重ねることで、着実に成果を積み重ねてきた。	ツーリズムEXPOなどの商談では旅行商品造成に直結する議論が多く、今後は出展者の構成を精査し、事業者に成果が還元される体制を整える必要がある。	
	市民、事業者、関係団体、インフルエンサー等の多様な主体と協働し、宇治市の様々な魅力を発信	○市民参加型写真展の開催 京都文教大学と連携して、市民参加型の写真応募イベント「宇治ふおと！」を開催 ・イベント開催にあたりママさんフォトグラファーによるスマホ写真教室を開催(11/23=4組、12/14=10組) ・応募写真を、宇治橋商店街に展示	○市民参加型写真展の開催 京都文教大学と連携して、市民参加型の写真応募イベント「宇治ふおと！」を開催 ・イベント開催にあたりママさんフォトグラファーによるスマホ写真教室を開催(11/23=4組、12/14=10組) ・応募写真を、宇治橋商店街に展示	○宇治市観光大使等によるPR 宇治市観光大使を活用し、宇治市でのライブやイベントなどを通じ情報発信を実施。	○宇治市観光大使等によるPR 宇治市観光大使を活用し、宇治市でのライブやイベントなどを通じ情報発信を実施。	○宇治市観光大使等によるPR 宇治市観光大使を活用し、宇治市でのライブやイベントなどを通じ情報発信を実施。	とりわけ大河ドラマ展では延べ11万人を超える来場者を迎え、市内外からの誘客と地域のにぎわい創出につながることができた。	また観光大使については、本人との情報共有を密にし、効果的な発信につなげる仕組み強化が求められる。
拡充		○ファミトリップの実施 大阪観光局の留学生支援の取組として、アジアや欧米からの留学生を対象としたファミトリップを実施(6/11)	○親子で宇治文化の魅力発見 ・夏休み企画 36人参加 ・秋企画 51人参加 ・冬企画 56人参加	○親子で宇治文化の魅力発見 ・秋企画 親子で天ヶ瀬ダム探検ツアー 32人参加 ・冬企画 親子で弾体験in萬福寺 37人参加	○宇治市観光大使等によるPR 宇治市観光大使を活用し、宇治市でのライブやイベントなどを通じ情報発信を実施。	さらに、宇治茶や祭式部、アニメといった地域資源を活用した多角的な発信を行い、中宇治にとどまらず、ニンテンドーミュージアムが開館した小倉地域や国宝指定を受けた萬福寺のある黄檗地域など、市内各地への回遊を促す仕組みづくりにも着手している。	また観光大使については、本人との情報共有を密にし、効果的な発信につなげる仕組み強化が求められる。	
		○ツーリズムEXPOジャパンへの参加 お茶の京都DMOとして、ツーリズムEXPOジャパンに参加し、観光事業者との商談を実施(9/22～23)	○光る君へ 宇治 大河ドラマ展 ～都のたつみ 道長が築いたまち～ 3/11～1/13に、お茶と宇治のまち歴史公園 交流館 茶づなにおいて実施。	○光る君へ 宇治 大河ドラマ展 ～都のたつみ 道長が築いたまち～ 3/11～1/13に、お茶と宇治のまち歴史公園 交流館 茶づなにおいて実施。	○光る君へ 宇治 大河ドラマ展 ～都のたつみ 道長が築いたまち～ 3/11～1/13に、お茶と宇治のまち歴史公園 交流館 茶づなにおいて実施。 6/1～6/20、9/29～10/14は市民無料デーを実施。8/5～8/25は宇治市在住の小中学生無料招待 来場者数 117,116人	さらに、宇治茶や祭式部、アニメといった地域資源を活用した多角的な発信を行い、中宇治にとどまらず、ニンテンドーミュージアムが開館した小倉地域や国宝指定を受けた萬福寺のある黄檗地域など、市内各地への回遊を促す仕組みづくりにも着手している。	また観光大使については、本人との情報共有を密にし、効果的な発信につなげる仕組み強化が求められる。	
拡充		○観光PR動画の活用及び宇治市観光大使等によるPR 宇治市の観光PR動画を活用した情報発信を実施。また、宇治市観光大使による情報発信を実施	○小倉から広がるにぎわい創出 市内の周遊観光を活性化させるため、小倉地域と中宇治地域をつなぐ取組を実施。 ・バスのラッピング広告 ・観光ガイドの作成	○小倉から広がるにぎわい創出 市内の周遊観光を活性化させるため、小倉地域と中宇治地域をつなぐ取組を実施。 ・バスのラッピング広告 ・ラッピングバス利用促進のため、謎解きゲームを実施 ・小倉地域を紹介する観光ガイドの作成 ・京都宇治観光マップのリニューアル	○宇治市観光大使等によるPR 宇治市観光大使を活用し、宇治市でのライブやイベントなどを通じ情報発信を実施。	また、写真展や食のコンテスト、親子体験など市民が主体的に関わる事業を展開したことで、地域の魅力を再認識する機会を提供し、市民参加と共感を基盤とした発信ができた。	小倉地域についても認知度向上に向けた情報発信を継続し、ラッピングバス利用促進など回遊を実際の行動に結びつける必要がある。	
		○市民参加型写真展の開催 京都文教大学・短期大学と連携して、市民参加型の写真応募イベント「宇治ふおと！～君の光(ピカ)イチものがたり～」を共催。 ・開催にあたりママさんフォトグラファーによるスマホ写真教室を開催(11/18 4組、12/13 8組参加) ・応募写真を宇治橋通り商店街内の協力店舗、また集会所に一括展示(2/3～2/24)	○市民参加型写真展の開催 京都文教大学・短期大学と連携して、市民参加型の写真応募イベント「宇治ふおと！～君の光(ピカ)イチものがたり～」を共催。 ・開催にあたりママさんフォトグラファーによるスマホ写真教室を開催(11/18 4組、12/13 8組参加) ・応募写真を宇治橋通り商店街内の協力店舗、また集会所に一括展示(2/3～2/24)	○むらさきみどりいとおいし 食のいろどりコンテスト in 宇治 宇治のイメージと結びつく「紫色(祭式部)」と「緑色(宇治茶)」の2色を用いたメニュー等を市内事業者・市民から募集。 ・10/1～11/30の2ヶ月間、参加事業者の応募作品をそれぞれの店舗で提供 ・ハッシュタグキャンペーンを実施 ◆事業者部門 ・71店舗が参加 ・電子投票では約2,000人が参加(6,400票) ◆個人部門 ・小学生 28件 ・中学生 21件 ・一般 63件 計112件	○むらさきみどりいとおいし 食のいろどりコンテスト in 宇治 宇治のイメージと結びつく「紫色(祭式部)」と「緑色(宇治茶)」の2色を用いたメニュー等を市内事業者から募集し、一定期間店舗で提供いただくことで宇治の街を盛り上げる。 ・キャンペーン期間：9/19(金)～11/30(日) ・「推しの投票イベント」を開催、7メニューずつ選出 色：①むらさきみどりのマリアージュ賞 見た目：②食べるのがもったいないで賞 宇治らしさ：③トキメキ！うちの宇治賞 ※投票期間：9/19(金)～10/5(日)	特に「むらさきみどりいとおいし 食のいろどりコンテスト in 宇治」では、市内71店舗が参加し、市民や観光客に宇治茶や祭式部をモチーフとしたメニューを提供することで宇治ならではの魅力を発信することができた。電子投票には約2,000人が参加し、ハッシュタグキャンペーンを行うことでSNS上でも認知拡大が図られたほか、個人部門では小学生から一般まで幅広い層から応募が寄せられるなど、市民参加型の取組とすることができた。さらに、フェスタへの約2,100人の来場や複数メディアでの露出により、市内外への発信効果も高まった。	コンテスト事業は、「コンテスト」であるが故に参加し辛いとのご意見も多数あった。「むらさきみどりメニュー」の認知度向上のため、さまざまな形態や機会でご覧に取組んでいく必要がある。	

区分	事業内容	R4実績	R5実績	R6実績	R7見込	成果	課題
拡充	各種PR事業の実施	○山城マルシェ ・7/12、10/18、11/15、12/13、1/17 (5回開催)	○山城マルシェ ・6/13、7/11、10/10、11/14、12/12、1/16 (6回開催)	○山城マルシェ ・6/11、7/9、10/8、11/16、12/10、1/14、2/18 (7回開催)	○山城マルシェ ・6/10、7/8、10/14、11/11、12/9、1/13、2/10 (7回開催)	山城マルシェは毎年度継続的に開催されており、地域農産物の販売・PRの場として定着してきた。消費者との直接的な交流を通じて、地元産品の認知度向上やファンづくりにつながっている。	出展イベントは地域内外で多岐にわたるものの、単発的な発信にとどまりやすく、消費行動や継続的な購買につなげる仕組みづくりが必要。
	山城マルシェや宇治のうまいもん発信事業等、ソールや市内外の場所を問わず、様々な場面での市内の農業や農産物のPRを実施	○農業情報発信事業 宇治を食べようキャンペーン 【市内産農産物の流通促進や商談会の実施】に記載 宇治あぐりPR委員会 ・ナチュラルマルシェ：3団体出展 ・全国お茶まつり：11団体出展 ・お茶の京都大茶会：1団体出展	○農業情報発信事業 宇治あぐりPR委員会 (出展イベント名 出展団体数) ・お花見市場一般開放 1 ・植物公園緑のウォークラリー 1 ・「やましろの恵」試食会 1 ・親子で体験 種まき・収穫 1 ・アクトバル秋まつり 6 ・秋の市場一般開放 1 ・植物公園ハロウィンパーティー 1 ・六徳健康フェスタ 2 ・植物公園紅葉フェスタ 1 ・JAまつり 3 ・近畿歴史まちづくりサミット 1 ・うーちゃフェスタ 1 ・南部市場春の一般開放 1	○農業情報発信事業 宇治あぐりPR委員会 (出展イベント名 出展団体数) ・植物公園緑のウォークラリー 1 ・八十八夜茶摘みのつどい 1 ・植物公園鉄道イベント 1 ・JA京都やましろ宇治市支店杯 バレーボール大会 1 ・名古屋観光プロモーション 1 ※引き続き他団体が主催するイベントに 出店予定	○農業情報発信事業 宇治あぐりPR委員会 (出展イベント名 出展団体数) ・植物公園緑のウォークラリー 1 ・八十八夜茶摘みのつどい 1 ※引き続き他団体が主催するイベントに出店予定 ・農業体験 (稲作) ・農業体験 (花卉)	また、「宇治あぐりPR委員会」による農業情報発信事業では、植物公園や市場の一般開放、スポーツ大会や地域まつり、都市部での観光プロモーションなど、幅広い場面で市内農産物を発信する機会を確保してきた。	農業体験の実施も始まり、体験を通じて市民や来訪者に農業への理解や関心を深めてもらう取り組みが進んでいる。
拡充	市内産宇治茶ブランドの向上に向けた施策の実施	○高品質茶ブランド力強化事業 (45件6,302千円) 高品質茶推進事業 36件3,525千円 優良茶園振興事業 9件2,777千円 宇治茶海外輸出支援事業 0件	○高品質茶ブランド力強化事業 (48件5,285千円) 高品質茶推進事業 45件6,833千円 優良茶園振興事業 3件1,038千円 宇治茶海外輸出支援事業 0件0円	○高品質茶ブランド力強化事業 (59件10,581千円) 高品質茶推進事業 52件9,550千円 優良茶園振興事業 6件1,009千円 宇治茶海外輸出支援事業 1件22千円	○高品質茶ブランド力強化事業 (45件7,720千円) 高品質茶推進事業 40件6,921千円 優良茶園振興事業 5件799千円 宇治茶海外輸出支援事業 0件0円	これまでの取組により、市内産宇治茶の品質維持・向上が着実に進み、関西茶品評会および全国茶品評会においてほぼ毎年、農林水産大臣賞や産地賞を受賞するなど、全国的に高い評価を得ている。	宇治茶海外輸出支援事業の実績が限定的であった。
	市内産宇治茶の品質維持・向上に向けた支援を継続して実施し、品評会での農林水産大臣賞や産地賞受賞による市内産宇治茶のブランド化を図る。また、各種イベントへ参加し、市内産宇治茶の市内外へのPRを強化	○各種茶品評会 第74回関西茶品評会 大臣賞、産地賞受賞 第76回全国茶品評会 大臣賞、産地賞受賞 ○イベント出展 11/13 ソルコン (岡崎公園) 11/19・20 全国お茶まつり (茶づな他) 1/8 うーちゃフェスタ (産業会館) 2/4・5 お茶の京都大茶会in渋谷キャスト (東京都渋谷区)	○各種茶品評会 第75回関西茶品評会 大臣賞、産地賞受賞 第77回全国茶品評会 大臣賞、産地賞受賞 ○イベント出展 7/1・2 京都大作戦 8/19 サンガホームタウンデー 8/25 全産産地賞受賞報告会 9/8 文化庁移転記念イベント 11/12 ごちそうフェスタ 12/2 歴まちサミット 12/17 うー茶フェスタ	○各種茶品評会賞 第78回全国茶品評会 大臣賞、産地賞受賞 ○イベント出展 5/9 文化庁視察 5/22 石山寺観光プロモーション 6/15・22 京阪あじさい号 6/20 嵐山観光プロモーション 7/6・7 京都大作戦 9/4 名古屋観光プロモーション 9/21 嵐山「光る君へ」ラッピング電車お披露目 9/22 サンガホームタウンデー 10/12 万博開催半年前機運醸成イベント「京都イロドリEXPOこといろ」 10/24 南座観光プロモーション 11/2 全国お茶まつり 11/10 ごちそうフェスタ 11/16・23 京阪もみじ号 11/22 南座観光プロモーション 11/28 関空観光プロモーション 12/22 うー茶フェスタ 2/28 関空観光プロモーション	○各種茶品評会賞 第79回全国茶品評会 大臣賞、産地賞受賞 第77回関西茶品評会 大臣賞、産地賞受賞 ○イベント出展 7/5 サンガホームタウンデー 7/5・6 京都大作戦 7/17 関空観光プロモーション 8/30 ハンナリーズイベント 9/21 ごちそうフェスタ 10/25 わんさかフェスタ 12/14 うー茶フェスタ	また、「高品質茶ブランド力強化事業」による継続的な支援が、農家の技術向上や優良茶園の振興につながり、地域全体のブランド力向上に寄与している。	また、イベント出展については回数や場面が増加しているものの、単発的な情報発信にとどまり、購買行動等ほどの程度結びついていくかは検証が必要。 引き続き、農家や生産者の裾野を広げていくための安定的な支援体制が求められている。

③商店街の活性化支援

区分	事業内容	R4実績	R5実績	R6実績	R7見込	成果	課題
継続	商店街等の消費拡大に向けた取組【再掲】 商店街等が実施するキャッシュレス化等に向けた取組への支援						
継続	商店街等への補助【再掲】 商店街等が実施するイベントや商店街施設（防犯カメラ等）の設置、情報発信事業等、商店街の効果的な活性化につながる取り組みに対し補助金を交付						

取組の方向性 新たな産業の創出

取組の柱 (6) 事業の担い手の確保

①起業支援

区分	事業内容	R4実績	R5実績	R6実績	R7見込	成果	課題
拡充	起業ニーズの掘り起し						
	市内における起業家の掘り起しを目的とした、起業を選択してもらうための創業塾の開催や、起業家に情報交換の場や、起業家同士の出会いの場を提供するための交流会を他の支援機関と連携しながら開催						【(4)①「異業種交流会の開催」に掲載】
拡充	産業交流拠点「うじらば」を活用した交流機会の創出						
	時代のニーズに合わせた起業家の輩出やオープンイノベーションを促進するため、産業会館1階に産業交流拠点「うじらば」を設置。宇治NEXT(市・商工会議所)が運営し、異業種交流会等、あらゆる層が交流できる機会を創出することにより、新しい価値を生み出し、事業者の成長支援を実施						【(4)①「異業種交流会の開催」に掲載】
拡充	子ども未来キャンパスの実施	○小・中学生向け(保護者観覧可) 体験会・説明会(全3日、92人参加(申込者204人)) 本スクール全22回(6/11開講、34人参加) オンラインスクール(6~8月)6回(282人参加) (1~3月)6回(200人参加)	○小・中学生向け(保護者観覧可) 体験会・説明会(全3日、87人参加(申込者212人)) 本スクール全22回(6/17開講、32人参加) オンラインスクール(6~8月)6回(283人参加) (1~3月)6回(280人参加)	○小・中学生向け(保護者観覧可) 体験会・説明会(全3日、81人参加(申込者225人)) 本スクール全22回(6/15開講、32人参加) 最終発表会 3/22 オンラインスクール(6~8月)6回(288人参加) (1~3月)6回(213人参加)	○小・中学生向け(保護者観覧可) 体験会・説明会(全3日、80人参加(申込者162人)) 本スクール全22回(6/15開講、32人参加) 最終発表会 3/28 オンラインスクール(6~8月)6回(197人参加) (1~3月)6回 体験授業(テーマが農業、アクトパル宇治にて) 10/26、11/9、11/23、12/7、12/14 16人参加予定	小・中学生向けについては例年体験会、本スクールと定員を超える応募をいただき、受講者と保護者からの満足度も高い事業となっている。高校・大学生向けについては、事業づくり体験としてより宇治市内のフィールドワークや事業者との接点をもつ作りとしており、市の現状を知ってもらいつつ例年実践につなげる中で実際に起業する者や後年のプログラムの運営に携わる参加者も出てくるなど、若者の起業家精神の醸成に寄与できたと考えている。	小・中学生向けについては、参加希望者が受講できないという事象が発生しており、参加機会の増加については引き続き検討が必要。高校・大学生向けについては、各学生が取り上げる課題においてより宇治の地域性の高いテーマとなるようなプログラムの工夫が必要であり、また小さな実践を繰り返すことができるようより早い段階でアクションできるような支援が必要である。またそれぞれについて参加学生の後追いをを行い、一定の効果測定が必要である。
	産業交流拠点「うじらば」にて、未来の人材育成やふるさとへの愛着の醸成に向けた子ども向けの起業スクールや体験スクールを実施。参加者の声を踏まえながら事業内容の充実を図る	○高校・大学生向け 体験会・説明会(全3回、オンライン、当日参加10人・アーカイブ視聴4人) 本スクール全9回(9/17開講、15人参加)	○高校・大学生向け 体験会・説明会(全3回、オンライン、当日参加33人・アーカイブ視聴2人) 本スクール全9回(6/10開講、23人参加)	○高校・大学生向け 体験会・説明会(全2回、オンライン及びフィールドワーク、4人参加) 本スクール全11回(6/5開講、15人参加) 最終発表会 9/14 コミュニティ施策全3回(10/2、10/31、11/21)	○高校・大学生向け 体験会・説明会(全2回、オンライン及びフィールドワーク、3人参加) 本スクール全11回(6/5開講、12人参加) 最終発表会 9/20 コミュニティ施策全3回(7/5、11/27、11/30)		
区分	事業内容	R4実績	R5実績	R6実績	R7見込	成果	課題
継続	新規起業家への開業資金の補助	○創業支援補助金の申請を募集(6/24~10/31) (申請件数15件、採択件数12件) ※創業相談45件	○創業支援補助金の申請を募集(6/23~10/31) (申請件数16件、採択件数10件) ※創業相談49件	○創業支援補助金の申請を募集(6/5~10/31) (申請件数17件、採択件数12件) ※創業相談47件	○創業支援補助金の申請を募集(6/23~10/31) ※創業相談26件(9月25日現在)	新規起業家への開業資金補助については、毎年度ほぼ一定の件数の相談や申請があり、安定した利用実績が見られる。さらに、採択・不採択に関わらず創業塾やセミナー、交流会の案内を行っており、起業家が補助金申請以外の支援機会につなげている。	現状は補助を出して以降の一部事業者との関わりが薄く、その後の活動などについていかに確認し、その効果測定を行っていくかが課題。
	起業初期の経営安定化を目的に、新たに起業する人や第二創業を行う人に対して、その経費の一部を補助						
継続	専門機関による市内事業者の相談支援の実施	○ベンチャー育成工場の入居者に伴走支援を実施(支援内容の例:人材確保、資金調達、企業間マッチング、販路開拓等)	○ベンチャー企業育成工場の入居者に伴走支援を実施(支援内容の例:人材確保、資金調達、企業間マッチング、販路開拓等)	○ベンチャー企業育成工場の入居者に伴走支援を実施(支援内容の例:人材確保、資金調達、企業間マッチング、販路開拓等)	○ベンチャー企業育成工場の入居者に伴走支援を実施(支援内容の例:人材確保、資金調達、企業間マッチング、販路開拓等)	ベンチャー企業育成工場の入居者に対して伴走支援を実施することで、入居企業の着実な成長に寄与している。工場が併設されているインキュベーション施設はめずらしく、また賃料が安価であることから入居希望される問い合わせは多い。	入居期間終了後の市内定着が課題。市内において新規立地先が少ないこと、賃貸においては市内物件の賃料が高いことが市外流出の原因となっている。
	インキュベーションマネージャーを配置し、宇治ベンチャー企業育成工場の入居企業等の経営支援を実施	○入居企業数 7社	○入居企業数 8社	○入居企業数 7社	○入居企業数 7社(9/19現在)		
継続	ベンチャー企業育成工場の運営						
	市内におけるベンチャー企業育成を目的とした、宇治ベンチャー企業育成工場を運営						
継続	京都府融資制度を活用した起業への支援	○保証料補給(一部)を実施	○保証料補給(一部)を実施 18件 976千円	○保証料補給(一部)を実施 6件 606千円	○保証料補給(一部)を実施	市内事業者に対し、保証料補給を行うことにより、中小企業経営の安定化に努めることができた。	市の財政負担を鑑み、今後の制度運用の方向性については随時検討が必要。
	創業支援の一環として、京都府制度である「開業・経営承継支援資金」への保証料補給(一部)を実施						

②新たな担い手の確保

区分	事業内容	R4実績	R5実績	R6実績	R7見込	成果	課題
拡充	新規就農者への支援	○新規就農者3人に対し、農業次世代人材投資資金（経営開始型）を、新規就農者1人に対し、経営開始資金を交付。 ○新規就農者1人に対し、経営発展支援事業補助金を交付。	○新規就農者3人に対し、農業次世代人材投資資金（経営開始型）を、新規就農者1人に対し、経営開始資金を交付。 ○新規就農者1人に対し、経営発展支援事業補助金を交付。	○新規就農者3人に対し、農業次世代人材投資資金（経営開始型）を交付。	○新規就農者2人に対し、経営開始資金を交付予定。	新規就農者に対し資金を交付することにより、農業経営の継続を図ることができた。	今後も国・府の動向を注視し、引き続き就農意欲の喚起と就農後の定着を図る必要がある。
	経営が不安定な就農直後の所得確保や、農業者からの指導による技術向上等により、新規就農者の定着を支援						
区分	事業内容	R4実績	R5実績	R6実績	R7見込	成果	課題
継続	企業誘致の検討及び誘致活動	○フードファクトリー2022出展（京都市市町村企業誘致推進連絡会議事業） 9/28～9/30 全体来場者数 14,216人（延べ37,896人） 連絡先交換企業数 約90社 ○大阪市内で開催された京都府企業誘致説明会への参加 1/27開催	○第26回 関西ものづくりワールド 2023出展（京都市市町村企業誘致推進連絡会議事業） 10/4～10/6 全体来場者数 31,627人 連絡先交換企業数 約175社	○フードファクトリー2024出展（京都市市町村企業誘致推進連絡会議事業） 10/9～10/11 全体来場者数 延べ47,000人 連絡先交換 約139社 ○金融機関・ゼネコン等に向け企業誘致説明会への参加（京都市市町村企業誘致推進連絡会議事業）	○名古屋ファクトリーイノベーションウィーク出展（京都市市町村企業誘致推進連絡会議事業） 10/29～10/31	展示会への出展により、宇治市の産業振興施策や立地の利点をPRすることができた。	産業支援施策や製造業の集積、交通網の利便性のPRはできたものの、具体的な用地情報の提供ができない状況にある。
	宇治市の特徴や経済構造の変化、企業側のニーズ等を踏まえた上で、研究開発型の企業や大学発のベンチャー企業等、誘致対象を検討するとともに、市外からの誘致に向けた情報発信や企業訪問を実施						